

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌(暫定版)

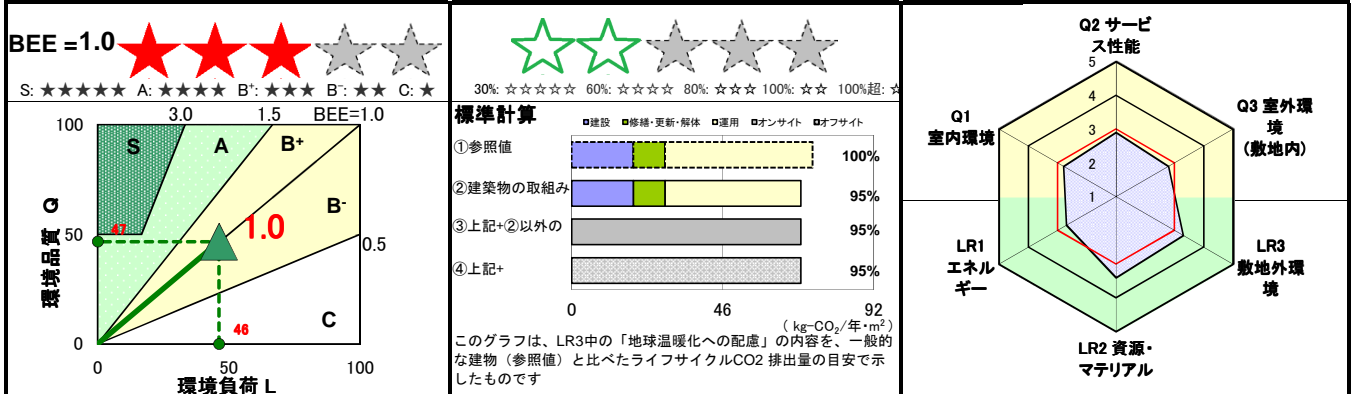
## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

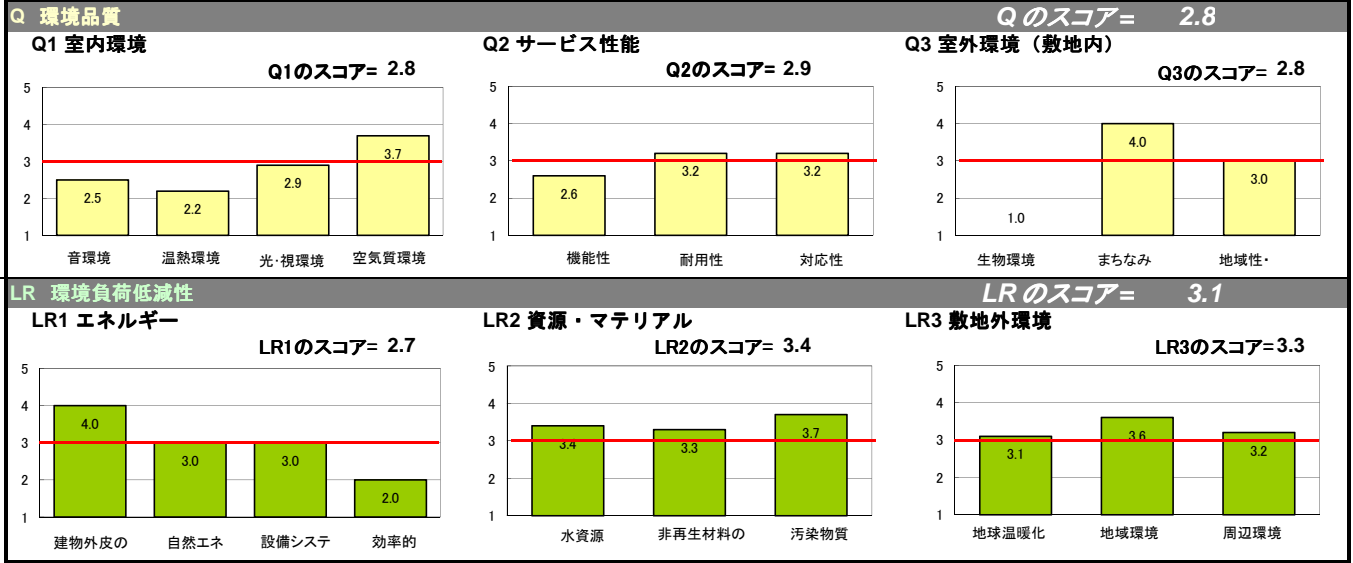
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	紀文フレッシュシステム札幌新センター新築工事	階数	地上2F
建設地	札幌市東区東雁来町113-3他	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条指定区域	平均居住人員	40人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年8月1日
敷地面積	9,304 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社フジタ札幌営業所一級
建築面積	3,117 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	3,610 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p><b>W (Global Warming) 省エネルギー・省資源</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーフ・ド t50(屋根側)、GW24kt100(外壁面内壁)、複層ガラスなど適切な断熱処置を施し熱負荷に配慮</li> <li>・全館LED照明器具を使用</li> </ul>	<p><b>S (Snow) 雪処理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物屋根は、無落雪タイプとし、敷地外への落雪に配慮</li> <li>・事業廃棄物抑制に加えて、除排雪のための経路の確保や、ヒーティングや堆雪スペースの確保等により、敷地外へ雪を出さない等の除排雪対策を行う</li> <li>・敷地内に冬季の堆雪エリアとして、緑地(芝)を計画</li> </ul>
<p><b>G (Green) 緑化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地道路側に緑地帯を配置。芝張り、ツツジや中木の植樹を行い景観性に配慮</li> </ul>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される